



## I 会の目的と総会について

本会は、奉仕の精神に基づき、鳥取県立倉吉養護学校の理解と振興を図り、広く障がいのある児童生徒の福祉の増進に努めることを目的として設立しました。以前は総会を開催し、事業や予算を決定していましたが、本校はハイリスク施設として感染症予防の対応をしているため、書面審議としております。

## II 主な事業の紹介

### 1 行事を通じての交流推進

① 5月20日（土）に「倉養大運動会」を開催しました。今年度は、全校一斉に運動会を実施し、来校された保護者に子どもたちの成長した姿を見ていただくことができました。

② 10月7日（土）に「くらよう祭」を開催しました。今年度も来場者は保護者として、各グループが日頃の学習の成果をしっかりと保護者の皆様に見ていただくこととともに、作業製品販売も実施しました。

③ 2月9日（金）に「くらようショップ」を開催しました。数年ぶりに、校内の体育館に、保護者の方だけではなく、学校近辺在住の方に来ていただいたの開催となりました。中学部・高等部の生徒が作業学習で作った製品を、高等部生徒が接客・販売しました。生徒にとっては、自分たちが作った製品が売れて行く様子を見る貴重な機会になりました。また、製品を購入していただくことで、外部の方に倉吉養護学校のことについて関心を持っていただく良い機会となりました。



### 2 交流学習の推進及び体験学習・体験入学

本年度は、新型コロナウイルス感染症等の予防のため、学校間交流は3校と間接交流という形で、作品交流等を行いました。また、居住地校交流は、小学部20名、中学部9名の児童生徒が行いました。

また、外部の学校から本校への体験学習は小学部20名（20回）、中学部5名（5回）、体験入学は高等部8名（8回）が行いました。

### 3 部活動の支援

本年度の部活動は、7月より開始し、週1回のペースで実施しました。各部は、昨年度同様、卓球部、バドミントン部、ダンス部、カルチャークラブの4つの部活動で取り組みました。

熱中症対策のため急遽取り止めることもありましたが、昨年度よりも感染症による影響はなくなり、生徒たちは各種スポーツや文化的活動に親しみ、楽しく部活動に取り組みました。日々の活動を通して、集団の中できまりやルールを守って取り組むことの大切さを学んだり、学部や学年を超えて生徒同士が交流を深めたりすることができました。また、ダンス部は、4年ぶりに外部のイベントに参加し、日頃の練習の成果を披露することもできました。

様々な経験を重ね、生徒一人一人の成長の姿を見ることができた本年度の部活動でした。



【ダンス部】中部あいサポートフェスタ  
2023での発表

### 4 進路保障の充実

① 産業現場等における実習を中学部は11月に、高等部は6月と10月に、また中学部2年生と高等部1年生は職場見学を実施しました。障害福祉サービス事業所や一般企業で実際に作業したり、職場の方から説明を聞いて質問したりすることで、卒業後の就労や生活を体験し、進路について理解を深める貴重な機会となりました。



② 本校HPで中部地区にある障害福祉サービス事業所の紹介動画を公開しました。多くの方にご視聴いただき、アンケートに「事業所の場所や内容を知ることができた。我が子には少し先の話だが、適性を見極め楽しく穏やかに活動できる場所が見つかると思う。」「親の思いも大切だが、子供本人が『ここで働きたいな。料理を作りたい。』という思いが一番大切かなと思った。」「いろいろな作業所が動画で視聴でき参考になった。しぼり込みができ実習へとつなげていけるので良い。」等のご意見をいただきました。この動画は実習先の検討や学習にも活用していただきました。

③ キャリア教育だよりで、以下のことについて紹介しました。また、早い段階から、将来について知り、考えたりすることの大切さをお伝えし、事業所紹介動画の視聴や家庭内での話し合いについて呼びかけました。

- キャリア教育に関わる学校の取組（中学部産業現場等における実習、特別支援学校技能検定等）
- 家庭での取組（本校PTA研修部員の方が卒業後を見据えて今から取り組んでいること）
- 障害福祉サービス事業所（就労継続支援A型・B型、生活介護）
- PTA視察研修の感想
- キャリア教育参観日の様子（PTA人権教育参観日の感想）

5 会員募集 本年度の会員数は延べ175名で、会費合計は186,000円でした。

ご協力ありがとうございました。